

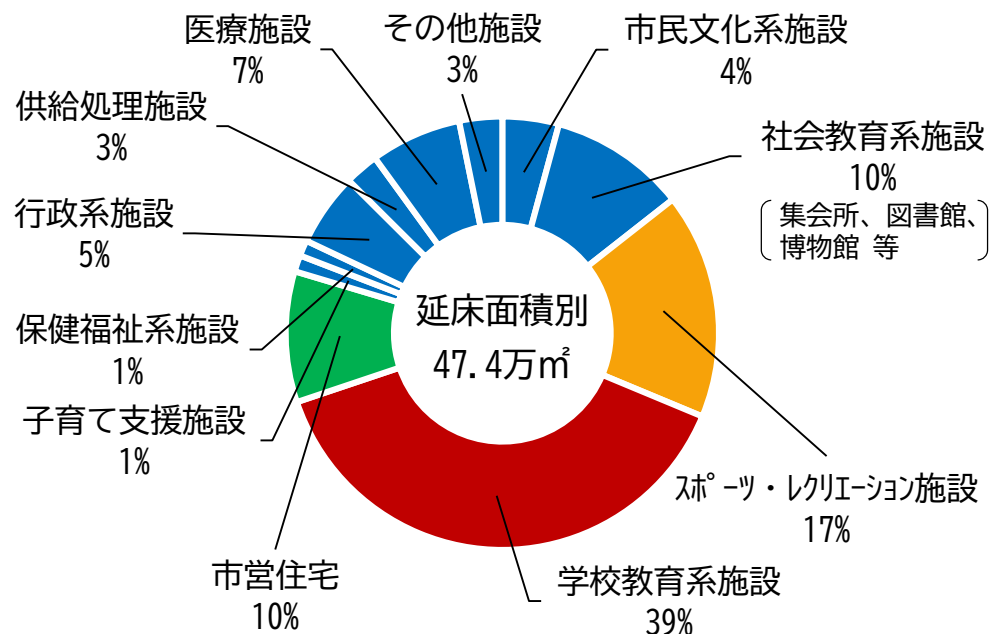
■改訂の趣旨（初回策定：平成26年12月）

- ・令和元年に示された国の指針（骨太の方針2019）に基づく全国的な計画改訂の動きの中で、本市としても、これまでの取り組みや、策定を進めてきた長寿命化計画や固定資産台帳等を基に、より精緻化した条件による**将来更新費用の再試算や、基本方針に加え施設類型別の取組方針**を盛り込むなど、大幅に改訂。
- ・本計画により、人口構成や社会環境、ライフスタイルの変化、技術の進展などを見通しながら、全体最適化の推進の観点から、公共施設がもたらす市民サービスをより良いものとする一方、維持管理コストは平準化や低減を図るなど、限りある財源の中でのより良好なバランス確保のため、**課題を将来に先送りせず、大胆な発想による見直し等も含めて検討を進め、公共施設をより良質な資産として次世代へ引き継いでいく。**

■計画期間：令和3年度～令和12年度（10年間） …今後、市のビジョンや国の計画・指針等に応じて随時見直し検討

■計画対象（R3.3末現在）

1）公共建築物（287施設、延床面積47.4万㎡）

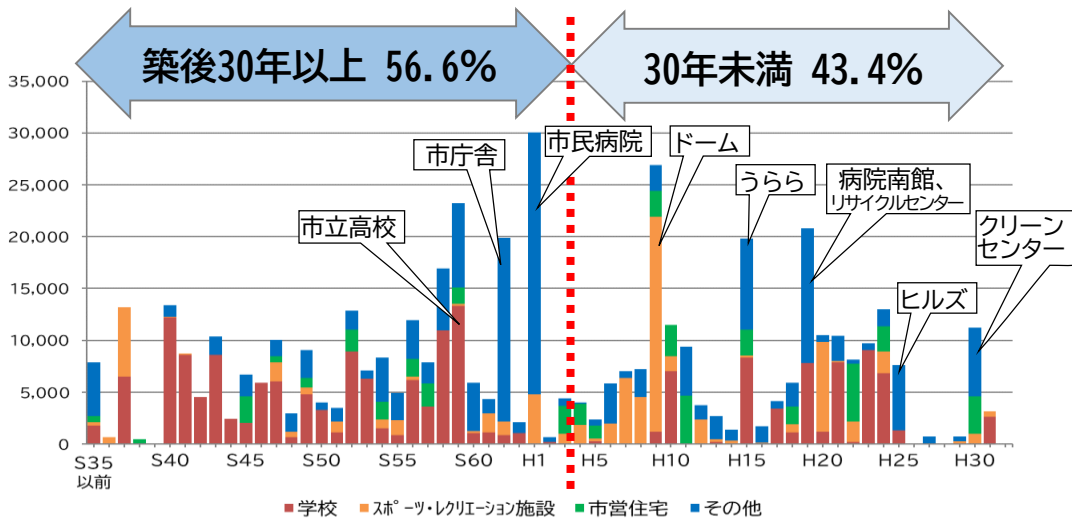


2）公共インフラ（道路・橋梁・上下水道・公園等）

・道路	1,882路線 (延長742km)	・照明灯	1,108基
・道路橋梁	441本	・林道橋梁	37本
・排水機場	25箇所		
・上水道管路	延長918km	・上水道施設	39箇所
・下水道管路	延長713km	・下水道施設	25箇所
・都市公園	85箇所		

■経年使用の状況

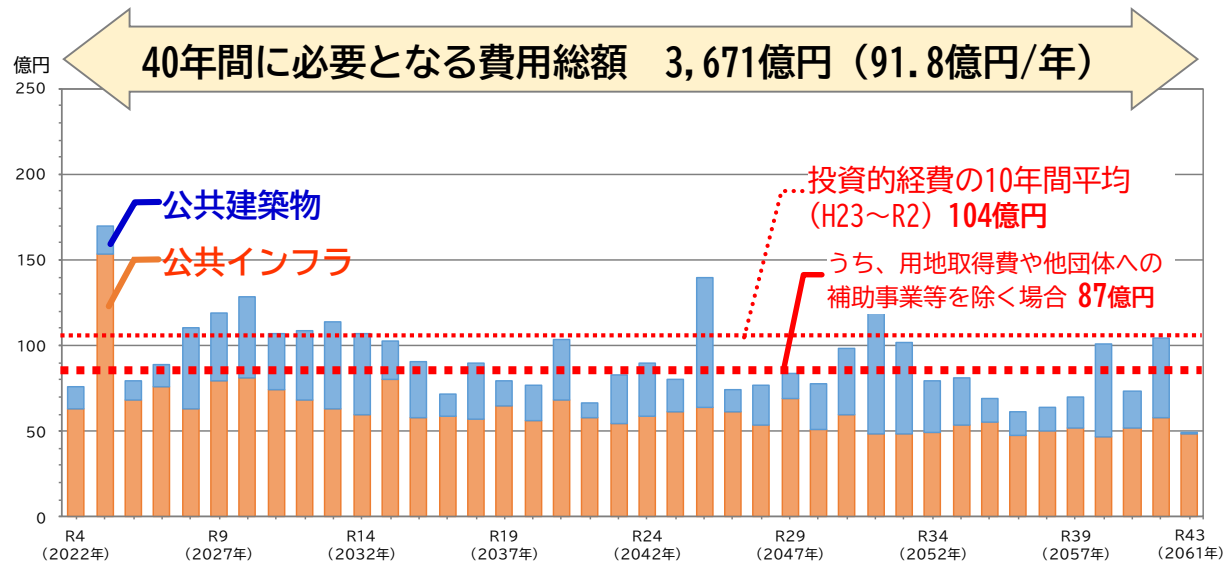
1) 公共建築物 …半数以上の建物が30年以上経過



2) 公共インフラ …6～8割の施設が30年以上経過

築後30年以上経過	令和3年	令和23年 (20年後)
橋梁 (橋長15m以上：82本中)	56 本 68.3 %	80 本 97.6 %
上水道施設 (39施設・延床面積3,906㎡中)	3,217 ㎡ 82.4 %	3,820 ㎡ 97.8 %
下水道施設 (25施設・延床面積15,336㎡中)	9,192 ㎡ 59.9 %	15,311 ㎡ 99.8 %

■将来の更新経費の見込み（長寿命化対策実施後の向こう40年間の試算額）



・長寿命化計画等に基づき、予防保全や計画的な改修を実施したとしても、約92億円/年の更新費用が必要。

・用地費等を除く直近10年間の投資的経費（普通会計＋企業会計）の平均約87億円/年を上回る額となる。

・資材費や労務単価の上昇等を見込むと、公的負担の軽減を含む総合的な検討が必要な状況にある。

- (1) 市民生活の向上や、人々の交流を呼び・好循環を生み出す財産として、施設の機能と提供サービスの質を高めます。
- ・ 市民ニーズや地方創生の好機を捉えた、施設の魅力と価値の向上
 - ・ ライフサイクルコストを意識した施設運営
- (2) 市民・利用者の安全安心や、消費エネルギーなど地球環境にも配慮した、適切な施設の保全を続けます。
- ・ 適切な点検と診断、予防保全型の維持管理と更新
 - ・ 利用者の安全確保、耐震化等の防災への取り組み
 - ・ 長寿命化の推進
 - ・ 環境負荷の軽減（使用エネルギーの工夫等）
- (3) 民間のノウハウや優れた技術の活用、市民との対話を重視して、皆さんとともに、より良い施設を創ります。
- ・ 民間活力の積極導入（PPP・PFI、公募、市民参加等）
 - ・ ユニバーサルデザインの推進
- (4) 人口構成や生活スタイルの変化への対応と、持続可能な行財政のため、施設の機能再編、統合、廃止・処分を進めます。
- ・ 既存ニーズに留意した公的負担の適正化
 - ・ 未利用資産の活用や処分の推進

公共施設の類型別にマネジメント方針を策定

1) 公共建築物

① 市民文化系施設、社会教育系施設	⑤ 市営住宅
② スポーツ・レクリエーション施設	⑥ 行政系施設、未利用資産など
③ 学校教育系施設	⑦ エリア別施設群
④ 子育て支援施設、保健福祉系施設	

詳細は次のスライド

2) 公共インフラ

予防保全とともに行う特長的な取組み

道路・橋梁	・道路の重要度別での管理指標の設定 ・需要変化に応じた中止や廃止・撤去
林道施設	・個別の管理カルテを作成 ・優先度による計画的補修等の実施
排水機場	・施設のライフサイクルコストの低減化 ・機能監視・診断・補修等の確実実施
上水道	・都市計画等に基づく計画的整備 ・中長期の財政見通しに基づく更新等
下水道	・施設運営・保全等の包括的民間委託 ・耐震化等の機能向上に配慮した保全
公園	・日常点検に加え定期的な健全度調査 ・市民ニーズに応じた配置の再検討

■公共建築物の類型別方針

- ・公的負担の適性化に考慮しながら、計画的な予防保全による長寿命化や、必要な整備を実施
- ・同時に、各種施設の今後のあり方について、築年数や改修時期、施設の有するスペック、利用状況やニーズ等を捉えた上での大胆な発想による見直しにも着手（主な取組方針と検討テーマ例は下記のとおり）
- ・また、今後の施設の運営や見直し・整備にあたり、民間活力を積極的に導入（民間委託、民営化、PPPの手法等）

① 市民文化系施設、社会教育系施設

維持保全の推進とともに、利用形態の見直しや複合化・再配置等を検討

検討対象・テーマ(例)

- ・芦城公園一帯の施設群
〔公会堂[昭和34年造]、博物館[昭和43年造]、市立図書館[昭和56年造]等〕

② スポーツ・レクリエーション系施設

公民連携による施設運営、地方創生に資する活用等の検討

検討対象・テーマ(例)

- ・こまつドームアリーナ部分[平成9年造]
- ・その他のスポーツ施設の全体最適化

③ 学校教育系施設

防災機能強化の一方、教育環境の変化等を捉えた将来像の検討

検討対象・テーマ(例)

- ・長期的視点や教育環境・制度の変化を捉えた上での、教育の質の向上への学校の将来像や適正数等の検討

④ 子育て支援施設、保健福祉系施設

人口構成や多様性を踏まえた適切なサービスと配置等の検討

検討対象・テーマ(例)

- ・市立認定こども園（だいいち[昭和47年造]、やたのあおぞら[昭和51年造]）
- ・千松閣[昭和49年造]、サン・アビリティーズ[昭和60年造]

⑤ 市営住宅 長期的視点による住戸改善と規模の適正化

⑥ 行政系施設、その他施設(未利用施設等)

自治体DX等を踏まえた行政機能のあり方の検討と、未利用資産の民間活用推進など

検討対象・テーマ(例)

- ・旧金野小、旧波佐谷小、旧保育所の有効活用について

⑦ エリア別施設群

部局横断によるエリア一帯での最適配置等の検討

検討対象・テーマ(例)

- ・芦城公園周辺、小松駅周辺、小松空港周辺など